



発行：山形県舟形町議会  
平成24年4月27日



地域密着型介護老人福祉施設「ほなみ」



「ほなみ」増築完成を祝う会

2月、3月臨時会	3月定例会概要、議案審議	2～4 P
予算審査特別委員会概要、議案審議……		5～8 P
一般質問に8議員……		9～16 P
町民の声・委員会活動・一般質問のゆくえ……		17～18 P
議員発議・議会報告会……		19 P
えがったなあ・編集後記……		20 P

第1回臨時会  
2月13日  
3月定例会  
8日～15日  
第2回臨時会  
3月30日

一般会計補正額 総額3億480万円

# 町統合小中学校空調設備整備事業

測量・設計・工事請負額 5,875万円

3月定例会は、8日から15日までの会期で開催され、8人の一般質問に続き、一般会計・特別会計の補正予算を、原案どおり可決しました。  
24年度予算については、特別委員会を設置し、本会議において付帯決議を付して満場一致で可決しました。

※付帯決議とは議決された議案や予算に対して付される、施行についての意見や希望などを表明する決議のこと。

## 除雪対策費

- 3,900万円(2月臨時会)
- 2,983万円(定例会)
- 1,000万円(3月臨時会)
- 農業振興費事業  
1億1,607万円
- 農業体質強化基盤整備促進事業  
650万円

2月補正予算(臨時会)		
会計名	補正額	予算総額
一般会計	3,900万円	41億4,270万円

3月補正予算(定例会)		
会計名	補正額	予算総額
一般会計	1億3,500万円	42億7,770万円
特別会計		
国民健康保険	△220万円	6億8,400万円
後期高齢者医療	△140万円	6,260万円
介護保険	△3,360万円	6億6,202万円
簡易水道	340万円	1億9,620万円
農業集落排水	△80万円	2億2,820万円
公共下水道	120万円	1億9,830万円

3月補正予算(臨時会)		
会計名	補正額	予算総額
一般会計	1億3,080万円	44億850万円

## 主な付議事件

### 第1回臨時会

- 一般会計補正予算
- 町道一の関若あゆ大平線法面防災対策工事請負契約一部変更

### 3月定例会

- 一般会計、特別会計補正予算
- 町長等の給与の特例に関する条例の設定
- 町空き家等の適正管理に関する条例の設定
- 町介護保険条例の一部を改正する条例の制定
- 町保育所設置条例の一部を改正する条例の制定

### 第2回臨時会

- 一般会計補正予算
- (特別交付税1億2千万円追加)

## 質 答 応 疑

### 第1回臨時会(2/13)

#### 平成23年度一般会計補正予算

議員 豪雪対策本部が設置されて、町民が期待しているのは、こまめな除雪・排雪体制であり、今後の対応は。

地域整備課長 今年の除雪については一日2回出勤がかなり多くあり、除雪の合間に行なっているため排雪が追いつかない状態です。今後も効率的な除排雪に努めます。

### 第2回臨時会(3/30)

議員 農業振興費の豪雪対策事業費35万円の内訳は。

産業振興課長 融雪剤に1/2の補助金です。



豪雪対策本部設置

## 定 例 会

### 平成23年度一般会計補正予算

議員 ふるさとづくり応援寄付金の内容と寄付件数は、また、PRはどうしているのか。

まちづくり課長 町外の方より、舟形町に寄付していただいた金額です。今年度は71件の寄付があり、272万4千円になるようです。都市交流時にPRを行なっています。

議員 町営バスの収支状況はどうなっているか。また、利用者が増やすための方策はやっているのか。

まちづくり課長 今年度は1,000万円程度の赤字の見通しで、利用者も年々減っている状況です。現状を町民の方々より理解していただき、利用者増に努めます。

議員 住宅耐震診断・改修補助金の利用状況はどうなっているのか。また、本町流雪溝の改修は考えているのか。

地域整備課長 耐震改修工事について、今年度は申込みがありませんが、耐震診断・改修補助金は23年度から27年度までの継続事業ですので、引き続き利用できます。

本町流雪溝は50年程経過しており、今後補助事業を活用しながら、改修工事について検討していきます。



舟形小学校

議員 統合舟形小学校空調設備整備について、先駆的事例があり、雪冷房システムを導入して行うべきと考えるが、十分精査を行なったのか。

教育次長 今回の施設整備にあたり、雪冷房を導入している新潟・秋田の事例を精査し、電気による冷暖房機器との初期投資、ランニングコストを検討しました。既存の建物への工事のため補助金も確定しており、結果として電気による冷暖房を採用することにしました。

# 予算総額56億9,500万円

付帯決議を付けて原案どおり承認

一般会計	36億8,000万円
特別会計	20億1,500万円
国民健康保険	6億7,600万円
後期高齢者医療	6,500万円
介護保険	6億8,700万円
簡易水道	1億9,900万円
農業集落排水	2億400万円
公共下水道	1億8,400万円



大場 清之 委員長

平成24年度予算審査は3月12日より15日まで、議長を除く議員全員による予算審査特別委員会を設置し、委員長に大場清之文教民生常任委員長、副委員長に叶内富夫議会運営委員長を選任しました。一般会計及び特別会計を審査し、討論の上、賛成5反対3で可決し、付帯決議を付けて議長に報告しました。

# 予算審査特別委員会

## 教育費に対し 反対討論出る!

### 賛成

- 八 八 太議員
- 野 野 益夫議員
- 加 加 憲彦議員
- 佐 佐 広幸議員
- 齋 齋 好彦議員

### 反対

- 叶 叶 富夫議員
- 奥 奥 謙三議員
- 佐 佐 勇議員

### 付帯決議

- ①歳入歳出予算の執行に当たっては、法令等を遵守し適切に処理し住民福祉の向上に努めること。
- ②建設事業については、計画段階から早期に説明を求める。
- ③地球温暖化、原子力発電の事故等により、再生可能エネルギーの導入が重要な課題となっており、当町の自然条件やこれまでの取り組みを活かし、導入について十分に検討すること。
- ④採択した請願陳情については、実現に向け十分に検討すること。

### ●町空き家等の適正管理に関する条例の設定

**議員** 空き家の件数等正確な情報を把握しているのか。この度の条例案は、強制的に解体等まで出来るようになってくるのか。

**総務課長** 直近の状況までは把握していないので、今後調査を行います。所有者等には指導、助言、勧告等を行い危険除去に努める条例となっております。

**議員** 条例にある所有者等の範囲はどこまでか。連絡が出来ない場合はどうするのか。

**総務課長** 所有者等の範囲は、所有者、親戚、管理者などが該当します。解体等にかかる経費については、あくまで個人の負担となります。

**議員** 空き家にも、周りに影響を及ぼす建物と、そうでない物があるので、区分する必要があるのではないか。

**総務課長** 区分については、周りの方々の意見等を聞き判断を行い、町の負担が増えないように管理者等と話し合いを進めていきます。

### ●町長等の給与の特例に関する条例の設定

**議員** 報酬審議会条例に特別職の報酬改定の場合、意見を聞くところがあるが、今回会議を開催し意見を求めたのか。

**総務課長** この度の引下げ改定は、自主的なものでしたので意見は求めていません。今後、条例に従い進めるよう検討します。



対策が必要な空き屋

### ●町保育所設置条例の一部改正

**議員** 旧南部保育所が解体に至った経緯と、現在使用されていない旧長沢保育所の今後の活用はどうするのか。

**健康福祉課長** 旧南部保育所は、雨漏り等の修理を行い活用策を検討してきましたが、なかなか見いだせなかった。隣のグラウンドがスポ少等の利用が多く、駐車スペースが狭いと苦情があり駐車場として活用するものです。旧長沢保育所については検討していきます。



旧南部保育所



旧長沢保育所

# 質答 応疑

## 一般会計

### 歳入

**議員** 不動産売り払い収入の見込み額の内容は。

**総務課長** 旧舟形小学校跡地の分譲地2区画分と内山分譲地1区画分の計3区画の売り払い収入1,150万円を見込んでいます。

**議員** 温泉テニスコート使用料収入75万円の内訳は。  
**産業振興課長** 町内外のクラブが利用する時の使用料と夜間に使用する照明料金です。ただし、学校教育の場合は、クラブ活動となりますので無料となっています。



若あゆ温泉テニスコート

**議員** 舟形駐在所と堀内駐在所が統合するという話があるが、その後の経過は。

**町長** 県の方針で30年以上経過し老朽化した駐在所を対象に整備する計画があり、平成25年度舟形駐在所と堀内駐在所の統合についても対象になっています。

**議員** 縄文ヴィーナス、モニュメントの設置場所と規模は。また、それらの周辺整備やイベントはどのようなものになるか。

**まちづくり課長** 設置場所は西堀公民館前の土地にヴィーナスは1.5m角の台座に約2mの像を乗せたものを考えています。また、近くの道路に案内表示を取り付けたいと検討しています。

6月上旬に中央公民館に於いて縄文ヴィーナス里帰り展を予定しています。また、8月4、5日に縄文交祭を高規格道路トンネル上の敷地で開催する予定になっています。



縄文の女神（国宝）

### 歳出

**議員** 庁舎屋上の塔屋の解体の必要性は。

**総務課長** 屋上の塔屋と煙突が、地震発生時、一番危険だと指摘されています。平成25年から3年かけて庁舎の補強工事を計画していますので、その時に対応します。

**議員** 高齢者ドライバーに、取り付け努力義務のある「よつばマーク」を町が提供できないか。

**まちづくり課長** 基本的には個人に買って頂いていますが、今後、交通安全対策協議会と協議して補助を出すかどうかの検討をします。

**議員** 若點の里定住推進事業費が前年度対比690万円の増額だがその理由は。

**まちづくり課長** 町の子育て支援・若者定住支援事業、在来工法建築・リフォーム補助金、ヴィーナス定住促進交付金事業の申請増加と、県からの補助金の増額により事業費が増えています。今後、更に申請が多くなれば補正予算での対応も考えています。また、婚活事業も回数を増やしたいと考えています。

**議員** 豪雪により保育園の施設の一部が破損したというが、管理は適正であったのか。

**健康福祉課長** 大雪で破損したものであり、今後は管理を徹底いたします。

**議員** 高齢者世帯への火災警報器の設置は全て完了したのか。

**健康福祉課長** 平成21年度から22年度にかけて設置をしました。今後、一般家庭についても周知していきます。

**議員** 保育士の資格を持つ臨時職員を正職員として採用し、お互い研鑽することにより園長に登用するなどの対応はできないのか。

**町長** 臨時職員に対する待遇改善を検討しています。民間の園長登用でその活力に期待しています。

**議員** 紫山地内の県道56号の跨線橋からゴミの不法投棄がある。不法投棄防止対策は出来ないのか。

**健康福祉課長** 町と県が連携してパトロールしているが、今後は立看板を設置するなど防止対策に努めます。



指摘されている庁舎屋上の塔屋

**議員** 特別豪雪地帯先導的事業とはどんな事業か。また、井戸水の散水は再生可能エネルギーに該当するののか。

**まちづくり課長** 堀内地内の住宅に雪氷室と地下水を利用して屋根の融雪をする設備を整備しています。それらの実験データを、山形大学の横山先生に送り研究して頂いている事業です。また、井戸水散水は国の再生可能エネルギーに入っていないため考えていません。



老人クラブのゲートボール大会

**議員** 各町内の老人クラブへの加入年齢幅が広すぎて加入者が減少している。年齢層により段階的な組織づくりを進めてはどうか。

**健康福祉課長** 町の最大の組織であり、高齢化に伴う介護予防や地域での大切な人材でもあることから、今後の組織づくりについて検討していきます。

**議員** 放射線測定を各小学校だけでなく、広範囲にわたって測定することは出来ないのか。

**産業振興課長** 広範囲にわたる放射線測定については今後検討します。

**議員** 産地活性化支援事業の中でねぎの苗代の補助はあるのか。

**町長** 1枚の単価が2,000円と考え、その二分の一以内を補助します。尚、平成24年度までの3年間と考えています。



ねぎ苗

**議員** 以前、採択された西堀流雪溝造成を含めた全町にわたる流雪溝マップが作成されているのに計画が進んでいないが。

**町長** 流雪溝造成には維持管理が大きな問題です。上下水道事業が完成しており、今後、第6次基本構想（H22～27）の中で計画していく考えです。

**議員** 昨年9月の臨時会で木友町内の生活道路認定及び路線整備が採択されたが、予算計画は。

**地域整備課長** 隣接している木友団地の土地払い下げを三菱リアルと交渉しており、払い下げ後に工事の目処がつき次第、町道認定をして計画していく考えです。

**議員** 町道岡矢場線、町道福寿野沖の原線道路の改良整備計画は。

**地域整備課長** 平成25年度に調査事業に入れると考えています。福寿野地内の交差点は県に拡幅してもらえるように協議しています。

**議員** 地域防災における消防団の位置づけと支援拡大を。

**町長** 震災で254人の消防団員が亡くなりました。消防団は地域を守っていくと共に、地域づくりの中核であり、団員の安心安全のため、役割と待遇を検討していきます。



消防団会議

## 特別会計 介護保険

**議員** 介護者サロン事業の内容と、今後、予算や計画を拡大して取り組む考えはないのか。

**健康福祉課長** 県の予算による1年間の事業です。在宅介護者を対象に、各地区で元保健師を講師に開催しました。今後、自殺予防対策を兼ね、介護予防教室事業の拡大を検討していきます。



奥山 謙三 議員

# 光生園建設地を問う

## 地域との交流、発展に寄与できる視点で進める

**質問** 現在の光生園は昭和50年4月開所して37年経過しています。新光生園の建設地を堀内地区に行うべきと考えます。その理由の第一は平成8年比で人口、世帯数地区別で一番の減少率となつています。第2は小学校統合による堀内小

の閉校です。過疎が益々進む事が予想されます。活気を維持するには、定住人口、交流人口の増が必要と思えます。是非堀内地区内に建設するよう強く切望します。

**町長** 「障がい者支援施設光生園」は昭和50年4月開所し、今年で37年

経過しており、早期の移転改築を要望してきました。新たに建設する光生園の整備計画概要は、①建設用地造成を平成25年度に行い、②建設工事を平成26年～27年度にかけて実施 ③平成27年10月開所を目指しています。移転先の選定については、利用者の皆さんの交流や地域の発展に寄与できる場所を視点に置きながら、舟和会と協議、連携して進めていきたいと思えます。

**地域コミュニティ中心による地域活性化策を問う**

**質問** 舟形町の地域活動は集落単位が基本となつていますが、学区単位の地域コミュニティを中心とした活動を強化すべきと考えます。活動を補助

するため総務省で提唱している「集落支援員」を設置することにより町の負担も増えずに行うことが可能になります。さらにこの4月から採用される「地域おこし協力隊」も活用すればさらに体制構築が出来ると思えます。

**町長** 24年度の地域づくり支援事業は、話し合いをする事業に3町内会、イベント関係事業に5町内会、(財)自治総合センターの事業に2町内会が申請しており、町内会を単位とする地域づくりの意識が高まっていると感じています。更に地域協働事業にも3町内会から4事業の申請を受けており、地域の課題解決に一生懸命に取り組んでいただいています。

4月から地域おこし協

力隊2名、緑のふるさと協力隊1名を採用することとしていますが、地域おこし協力隊は、地域づくり支援事業の課題の発掘とその解決に向けた地域の話し合い、地域イベントの企画立案、特産品開発や6次産業化、都市と農村の交流事業などへのサポートを考えています。緑のふるさと協力隊は、自分の人間力を高めることを目的に地域おこしを手伝い、地域も今まで気付けなかつた地域の魅力を再発見する機会になる場と考えており、お互いの利益になることを期待しています。

集落支援員の導入については、3名の協力隊の活動を検証し、また、地域の状況を見たらうで考えていきたいと思つてい



光生園全景



齋藤 好彦 議員

# 震災から1年後の防災対策は 地域防災計画の見直しを実施

**【質問】** 東日本大震災から1年を迎えようとしています。未だに仮設住宅で不自由な生活を送っている方々や放射能汚染により自宅に帰れず避難生活を強いられている沢山の方々がいる現状にあります。この1年の間に様々な機会を通じて、防災対策についてご提案ご

意見を申しあげてきましたが、何一つとして具体化になっていないように感じるのは私ひとりだけでしょうか。舟形町の防災計画の見直しを始めたものと町長はお考えでしょうか。

昨年1月の豪雪から始まり3月の大震災そして集中豪雨さらには12月の豪雪と自然災害に悩まされた年になりました。このような災害の年のごとも、少しずつ記憶が薄れて行く現状において、町民の「安全、安心」を守る責任のある町長として、舟形町の防災対策は万全であるとお考えなのかお伺いします。

**【町長】** 町としても「災害はいつでも発生する可能性がある」との危機管理意識を常に持ち、日々の業務を行なっています。国、県と連携しての防災訓練の定期的な実施や、県と地域が直接行なう地域防災学習会にも積極的に町内会からの参加を得ています。

地震に備え、個人の住宅の耐震診断調査を実施するなどして、地震に強い住宅の推進や、各町内会から一番要望が多かった地区公民館への発電機と投光器も配置します。ペットボトルの飲料水の確保や、生涯学習センターや中央公民館、環境改善センター内に担架や石油ストーブ、電池、毛布などの防災用品も確保しています。今後、更に必要と思われるものについて計画的に整備していきたいと思っております。保育所や小中学校においても災害を想定した危機管理マニュアルに基づいて、防災訓練を実施するなどして危機意識の継承に努



各公民館に配置した発電機と投光器



佐藤 広幸 議員

# 農業所得500万円の目標はどいつへ行ったか 積極的に支援を行なっていく

**【質問】** 奥山町政2期目のスタートにあたり、4年前に公約した「公務員並みの農業所得500万円を目指す」とした、その施策の推進を期待せずにはいられませんでしょうか。

しかし、この度の選挙期間中には、一度もその公約は聞かれず達成した

政策のみを強調していませんか。出来なかつた政策にも真摯に向き合い、今後を進めるつもりだと正直に町民に問えば良いと私は考えます。

町には、専業農家、第一種、第二種兼業農家合わせて合計534戸の販売農家が存在し、中でも認定農業者は79名で将来は100名を目指しているとのことですが、今後4年間で何名の目標達成農家を見込んでいるのかを伺います。

また、農業所得500万円を超えた農家は4年で2名のことです。それは4年前、奥山町政が始まってから500万円を超えたのか、それ以前から500万円を超えていたのかを伺います。

また、農業所得500万円を超えた農家は4年で2名、平成21年度が2名、平成22年度が1名となっています。この数年間で認定農業者は79名いますが、500万円を目指す認定農業者は79名いますが、更に100名の達成に向けて頑張っているところですか。



所得500万円を目指して

**【町長】** 農業所得は、収入から種苗費や生産資材費、減価償却費、雇用労働費など、いわゆる栽培経営費を差し引いたものが農業所得となりますが、税務申告による農業所得は更に専従者控除や生命保

険、医療費、配偶者控除などが加わり、実際には所得率が大幅に下がることとなります。平成17年度と平成22年度のセンサスの数値ですが、5年間の特徴として、高齢化や機械の老朽化などにより離農者が多くなっています。

また、もう一つの特徴として、販売額の多い農家が増え、当町でも700万円以上の販売額がある農家が9戸増加し38戸となりました。認定農業者の方々をはじめ多くの農家の方々が一生懸命、自分の立てた農業経営や所得目標を達成するために頑張っておられますし、町では積極的に助成事業を活用して積極的な支援を行なってきました。



大場 清之 議員

# 交流学習の成果について

## 「舟形ファンクラブ」への入会に結びつけたい



交流を深める子どもたち

**【質問】** 長年、町と世田谷区、港区と子ども達の交流が行われてきたが、教育目的だけの学習ではなかったかと推測されます。もっと成人式などの節目の年に町に招待しながら婚活を含めて交流をする必要があると思います。また、町から都会に出て行った方々も大勢おり、ふるさとに行きたいと考

えている人達を若駒まつり等に招待しながら町の活性化のため、交流を深める必要があると思えますがどうですか。

**【町長】** この事業は、自立心や心の広い視野、心の交流が大きな成果として生まれています。「節目の年に町に招待しながら婚活を含めて交

流をする」というご提案ですが、具体化するには大変難しいと思われま。本人の了解なしに個人情報を利用することができないため、教育委員会が主催する児童交流のような婚活のための事業はできないと思われま。しかし、今でも交流を行なっている人もいますので、その人たちがまとまり、

婚活への参加呼びかけを行うことは可能であると思われま。

**【町出身者へのイベント等の招待については、故郷への里帰りや小旅行の一環として若駒まつりなどのイベントに合わせ行なっていたらどうか】**

誘致するなど考える必要があると思えますがどうですか。

**【町長】** 他市町村からの転入促進と併せ、子育て支援や若者定住支援、一番の問題となっている学生が戻って就労できるような企業誘致などの雇用対策に力を入れ、人口減少を極力少なくしていくことに努力したいと考えています。

**【質問】** 一期目の奥山町政の手腕は素晴らしい政治力で数々の実績をあげ、福祉の町にふさわしい事業、農業面では、活気ある農業推進機構の立ち上げ等で努力している姿は認めますが、それだけでは6千人の人口が維持できるのか。また、町の出生は35名程、死亡は100名前後で人口減少が続いており、これを打開するには山形大学の介護学部を

さらに空き家対策による優良な宅地の提供や、新たな宅地の創出なども検討するとともに、地域おこし協力隊の力を借りて魅力あるまちづくりを進め、6千人の目標を達成したいと考えています。山形大学の介護学部を誘致することについては、県と協議していききたいと考えています。



加藤 憲彦 議員

# 東日本大震災のその後は

## 自主的な防災訓練の実施



災害発生時の若あゆ温泉テニスコート

**【質問】** 東日本大震災が発生してから1年になりました。その後、舟形町では何をされたのか。今、日本列島を揺るがす、まさに日本列島沈没といっても過言ではない、

総武沖、南海、東南海の地震が、今きても不思議ではない周期に入っていると言われています。私も昨年色々なことを一般質問しました。その後の進捗を伺います。

**【町長】** 大震災発生時から町民の皆さんと共に、被災地へ向けての募金活動や食料・生活物資の支援活動を実施してきました。原発事故の影響による福島県南相馬市からの避難者の受け入れについても積極的に行なってきました。被災地へのボランティア活動にも町民の方々から延べ95名参加して頂きました。その他、食事の炊き出しを計8回行いました。

各町内会においても大震災以降、防災意識が高まり、太折町内会や木友町内会では自主的に地域住民が参加しての防災訓練を実施しています。保育園や小・中学校でも危機管理マニュアルに基づき、防災訓練を定期的に行うなど、防災の意識を高めています。

**【質問】** 平成25年4月、各小学校が1校になります。その跡地について伺います。この問題について、昨年の一般質問では白紙と聞きました。その後の町長の考えを伺います。

**【町長】** 現在、平成25年4月1日の小学校統合に向けて、小学校統合準備委員会が検討中です。新舟形小学校が統合小学校となりますので、他の3小学校が廃校となります。跡地利用を含めた、3小学校の今後の活用について、各学区毎に学校跡地検討委員会を設置して、活用の在り方を検討していきたいと思います。



佐藤 勇 議員

# 「最上は一つ」 町長の考えは

## 国の方針に基づく広域連携を進める



もがみ大産業まつり

**【質問】** 東日本大震災からの復旧復興、原発事故の終息の目処が立たない中で福島再生、TPP問題、さらに国の借金残高は一千兆円あり、先進国の中で最悪の財政状況を再建していくには、増税一辺倒では立ち行かず、地方財政も更に厳しくなるものと思われまふ。町では住民投票により自立協働のまちづくりが進め

られていますが、最上地域の活性化に向け「最上はひとつ」になる合併について町長の考えを伺います。

**【町長】** 町民の行政参加の意図を聞きまちづくり意見交換会を全町内会で実施してきました。また、アンケート調査のご意見やご提言、他にも若者

女性委員との話し合い、敬老会など、いろんな意見を場面、場面で伺っています。

**【質問】** 小学校統合後の跡地利用や放課後の対応は送迎による運動能力の低下、地域の人たちの交わりなどの課題について、また、新たな冷房のための空調設備計画で、なぜ雪冷房の検討を「スト面でしかしなかったのか。震災、原発事故後、自然エネルギーが不可欠な課題であり、雪利用の実績がある町では、地域資源として、雪の価値を文化や教育、地域振興に結びつける取り組みを検討していただきたい。今回の雪冷房システムの考査はどこでされたのかお伺いします。

**【町長】** 跡地利用については跡地利用検討委員会では放課後の対応については児童の登下校の安全性を考えたが、地域子供会や統合小学校準備委員会



叶内 富夫 議員

# 町政2期目の所信を問う

## 住みよいまちづくりを目標とする

**【質問】** 立候補にあたり、数多くのマニフェストの中から特に①若者の定住推進、子育て支援への今後の取り組みについて。②第6次舟形町総合発展計画の基本理念である、出あい・ふれあい・支えあい、新たな「結」の創造の具現化への取り組み

について。③一期目の任中に最上の市町村が一同に集い合併について各市町村の考え、意見が述べられましたが、その席で時期尚早と発言されました。二期目の期間中の合併の取り組みについて、以上、3点につき町長の所信をお聞きます。

**【町長】** ①について、町では子育て支援及び若者定住支援交付金を平成21年3月に創設し、子供1人当たり内山団地は20万、50万円限度、その他の地区には15万、40万円限度として子育て世代を支援しています。また、住宅の建築主または配偶者が45歳以下である場合、一律10万円を加算し支援しています。

②について、平成の大合併時に合併した市町村では、多くの課題が指摘されていることもあり、国の合併支援が大幅に削減された現状において、8市町村の首長からは合併の話は出ていませんし、喫緊に合併の話が進められることはないだろうと思っています。

住民の意見を尊重しながら進めていかなければならない課題だろうと考えています。



所信を述べる奥山町長

③について、平成の大合併時に合併した市町村では、多くの課題が指摘されていることもあり、国の合併支援が大幅に削減された現状において、8市町村の首長からは合併の話は出ていませんし、喫緊に合併の話が進められることはないだろうと思っています。

いすれにしても、最上地域が一致した意志の下、

で議論して頂き配慮したいと考えています。



八鍬 太 議員

# 宿泊型の多目的施設の整備を

## 町観光審議会で検討

**質問** 舟形若あゆ温泉も平成5年開業以来20年になろうとしています。今後この若あゆ温泉を軸にして交流人口の拡大を図るといふ観点から、温泉に併設した形での宿泊型の多目的施設の整備がぜひとも必要であると

考えます。町長が提唱する6次産業化の受け皿としても活用できますし、開発した特産品の提供や販売の場としても有効に利用できると思います。また、町内の実情を見ても、地域行事の反省会や祭事の宴席などにおい

て町外の施設やホールの利用が多くなっています。人口減少社会において、需要があっても民間では大きなリスクを伴う部門を行政がリードしながら運営方式を模索していくことも一つの住民サービスではないかと考えます。町長の考えを伺います。

も増え、公的施設に宿泊する人数が減っていることがありとも思われます。こうした状況の中で、新たに宿泊施設を温泉に併設するということは、利用者の問題や収益性の問題もあり、経営が芳しくなければ、住民サービスとはいえず多くの税金を投じなければならぬというリスクを伴うと思われ

を作った経緯があります。宿泊出来る施設としては、猿羽根山の体験実習館がありますが、昨年7月から指定管理者となっているNPO東北エコーサイクルネットワークでも施設の利用拡大や収益拡大のために、宿泊研修の会場として、また、ホテルで提供している料理で会食できるような企画も検討しているところで



若あゆ温泉

**町長** 宿泊施設を併設している温泉施設としては真室川町、金山町、大石田町、尾花沢市などがありますが、いずれも経営的に厳しい状況にあると聞いています。その原因としては、山形県には古くからの温泉場や湯治場があり、多くの旅館やホテルがしのぎを削って集客に努めていることや、旅行も多様化しており、ビジネスホテルなどの利用

若あゆ温泉は、日帰り温泉として、近隣の温泉場に行かなくても町で入浴できる施設として、住民の要望に基づき整備したものです。また、パブリック施設ならではの低料金の設定や、多様化する旅行形態の中で家族単位やグループ単位での宿泊に際するために、最小限の施設として「テージ

この宿泊施設の提案につきましても、今後、民間ファンドの勉強会を計画していますので、その会のテーマとして、また町観光審議会でも一つのテーマとして審議していただきたいと考えています。

# 声 声

皆さんの声を掲載する欄です。議会に対するご意見・ご要望等、どうぞお気軽にお寄せくださるようお願いいたします。

今年も大雪でたいへんな舟形町でしたが、もうすぐ山あり川ありで常に森林浴をしているような、ここちよい環境になるのを楽しみに待っている今日の頃です。

きれいな環境で生活できるように町内会では、絶滅危惧種の「あきな草」「あずま菊」を植栽したり、縄文の土偶発掘の地にできる範囲で花壇を作ったり、花を植えたりして美化活動を行なっております。そんな折、町内役員の方々より町へ強く働きかけていただき、縄文の土偶発掘から二十年を記念して西堀公民館前に縄文ウィーナスのミニメント設置の運びとなりました。縄文ウィーナスが発掘された地域に住む町民として、とても嬉しく誇りに思っております。

私は、これからも町内会活動に積極的に参加して様々な交流を持ちつづけていきたいと思います。町議会としても、町民の声が行政に反映されるよう積極的な対応をお願いいたします。



伊藤 和江 さん (西堀)

## 総務振興常任委員会

平成24年1月10日に舟形町豪雪対策本部が設置されたことを受け、1月20日に総務振興常任委員会幹事務調査を行なった。

### 1. 調査した事項

(1) 各課の対応について

### 2. 現地視察

- (1) 若あゆ温泉～内山間の除雪道路
- (2) 定住促進住宅ひだまり地区
- (3) 西堀地区排雪状況
- (4) 松橋地区積雪状況
- (5) 洲崎地区導入の除雪機

### 3. 調査結果

①各課の報告を受けた結果  
人的被害や家屋の破損、農作物やハウスの倒壊など大きな被害はなかった。

しかし、ほほえみ保育園の手すりの破損や、トイザの脱輪事故、光ケーブルの切断事故等、軽微ではあるが当事者の注意不足による事故があったので、より一層、注意して除雪を行う必要があると思われる。

### ②現地視察をした結果

今季から開通した若あゆ温泉～内山間の道路については、雪崩の危険性がある区間があり対応が必要であると思われる。次に、旧舟形小学校跡地の住宅街と西堀地区を視察し、住宅密集地の除雪や雪置き場等に課題があり今後も解決のために尽力されたい。町では空き家が多くなっているが、国の方針では「持ち主が不明確でも町が対応すべき」とのことです。基準を決めて対策にあたられたい。

その後の豪雪により新たな被害が多発しているので、注意を喚起し被害の把握と対策を検討されたい。



積雪状況視察 (松橋)

## 文教民生常任委員会

●統合等により廃校となった学校施設の活用について (平成24年1月17～18日)

1. 新潟県村上市「山北ゆり花温泉交流の館『八幡』」地域資源を活用した交流事業推進と学校近くに湧出した温泉の有効活用などの課題について、公募による「さんぽく未来」検討委員会」を組織し、山村地域の特性を生かした体験・交流の出来る宿泊施設として整備を行なったものです。

において「住民参加型の地域づくりの取り組み」は参考にしていきたいと感じました。

2. 新潟県新発田市「猿橋」ミニミニセンター」小学校の移転改築に伴い推進委員会を設立し、地域からの要望を受け「既存施設の有効活用による施設の充実、公共施設（幼稚園等）の老朽化の解消など地域課題の解決」を基本方針に、新たな地域拠点を目指した「ミニミニ施設」である。

舟形町で同様の施設整備を検討する場合、地域住民の要望に沿った施設整備・運営体制を構築する必要があると感じました。

●町内小中学校の施設視察および授業参観  
(平成24年1月27日)

1. 調査内容
- (1) 長沢小学校
- ①教育目標「豊かに学び、笑顔輝く子どもの育成」
  - ②保護者アンケートによる教育活動の取り組み
- (2) 舟形小学校
- ①教育目標「こどもも教師も笑顔輝く元氣な学校」
  - ②学校統合に向け、受入れ校としての取り組み
- (3) 堀内小学校
- ①教育目標「子どもも教師も学び続ける学校」
  - ②教職員アンケートによる教育課程の取り組み
- (4) 富長小学校
- ①教育目標
    - 「深く考え進んで学習する子ども(技)」
    - 「協力し合い思いやりのある子ども(心)」
    - 「心身ともに健康でたくましい子ども(体)」
- ②学校統合に向け夢や期待感を持たせる教育を推進

- (5) 舟形中学校
- ①立立式は例年と違い「群読発表」、「合唱」、「代表者による決意の言葉の発表」の形式
  - ②めざす生徒像、学校像、教師像の実現に向けた取り組み
2. 今後のあり方
- 小学校統合に向けた児童交流の充実および統合時のリハーサル等の実施により、スムーズな新小学校の開校が必要である。



学校視察（富長小学校）

議員発議  
飲酒運転撲滅に関する決議

公選による住民の代表であることを深く自覚し、町民に信頼される議会として、率先して飲酒運転の撲滅に努めることを決議する。

平成24年2月13日  
舟形町議会

提案理由  
昨年来、県内複数町村で議会議員の飲酒運転が報道され、議会に対する信頼を失墜させるに至ったことは誠に遺憾である。住民の信託をうけて地方自治を担うものとして、法令遵守は議会議員としての基本であり、平成11年に町交通安全条例を議決した舟形町議会の議員であることを再確認し、議会が一丸となって、飲酒運転の撲滅を提案するものである。

2月臨時会で、右記のとおり、議員発議（議員自ら提案するもの）を議決しました。

議会報告会

このたび、舟形町議会では昨年に引き続き、地域に向向いての第三回議会報告会を開催いたしました。

議会報告会の目的は、議会活動などの報告と町政に関する情報提供を行い、議会活動に対する意見などを直接お聴きして、議会の活性化に努め、住民に信頼される議会を実現しようとするものです。詳しい内容は議会だより7月号で報告します。



一の関公民館

議会報告会の日程

開催期日	開催場所	担当班
3月19日(月) 午後7時から9時	内山公民館	2班
	経壇原公民館	1班
3月21日(水) 午後7時から9時	一の関公民館	1班
	紫山公民館	2班
3月22日(木) 午後7時から9時	沖の原公民館	1班
	富田公民館	2班
3月23日(金) 午後7時から9時	実栗屋公民館	2班
	真木野公民館	1班

1班議員団 奥山謙三、佐藤広幸、大場清之、叶内富夫、信夫正雄  
2班議員団 佐藤 勇、斎藤好彦、野尻益夫、加藤憲彦、八鍬 太



実栗屋公民館

☆シリーズ  
一般質問のゆめ

(平成22年3月定例会)

質問  
縄文ウィーナスの土偶を全面に押し出し、古代ロマンの里づくりを。

答弁  
古代ロマンの里としてのまちづくりを、基本構想及び基本計画において検討します。

現状  
平成23年度は、縄文の女神の出土20周年を記念した縄文の炎祭のイベントを開催しています。

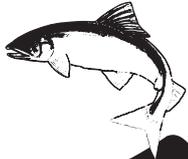
平成24年度は、縄文の女神の出土跡の石柱周辺の整備、西堀公民館前の県道敷地に縄文の女神のミニモニメントの建立、看板整備、出土20周年を記念した縄文の炎祭、縄文の女神の里帰り展などを計画しています。

基本構想の実施計画においては、施策の展開として観光開発事業の項目に、ヤナ場、歴史探訪ルート構築、地域のお宝発見などの事業を行い、縄文の女神も含めた滞在型の観光ルート開発を進めていきたいということ載せています。



# 新シリーズ

舟形町に嫁いで来た、お嫁さん・お婿さんをご紹介します。



# えがったなあ



□どんなきっかけで彼（ご主人）と知り合いましたか？  
友人の紹介です。

□舟形町に嫁いで来て、どんなイメージを持ちましたか？  
きれいな川が家の前にあり、自然に囲まれた空気のおいしい町です。

□舟形町での生活はどうですか？  
近所の方や商店の方など町の皆さんがとても親切で優しく接してくださり、毎日気持ち良く生活できています。

□舟形町の良いところ・悪いところがありますか？  
この少子化の中で、ここまで子育てしやすい環境をつくっているのは素晴らしいことだと思います。悪いところではないのですが、やっぱり子ども用品が揃う商店がないのが少し困ります。

□舟形町に望むことはありますか？  
もう少し観光に力を入れ、県内外から観光客がたくさん来る有名な町になったら良いと思います。

舟形町に嫁いで来たお嫁さん、お婿さん  
今回は、神奈川県から内山に嫁いで来た伊藤沙弥果（旧姓山田）さんです。  
皆さんよろしくお願ひします。

## お願い

「えがったなあ」に出てみませんか。  
対象者は町外から嫁いで来たお嫁さん・お婿さんです。

(連絡先)  
舟形町役場議会事務局  
TEL 0233-32-2111(代)

## 編集後記

1年前に発生した東日本大震災による津波と原発事故は世界に大きな衝撃を与えました。

国内はもとより世界各国からの支援を受け被災地は徐々に復興に向かっておりますが、未だに仮設住宅での生活や全国各地に避難され不自由な生活を強いられている沢山の方々がおられる現状にあります。

3月定例会におきまして、防災対策のほか再生可能エネルギーの活用について数多くの発言があり、日頃から防災意識を高め、万全な備え身構えが大切であると認識いたしました。今後も皆様の声を町政に反映させ、安全安心な町づくりに努めてまいります。  
(齋藤 好彦記)

## 議会広報特別委員会

議長 信夫 正雄  
委員長 加藤 憲彦  
副委員長 奥山 謙三  
委員 佐藤 広幸  
齋藤 好彦  
佐藤 勇